

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成24年7月5日(2012.7.5)

【公表番号】特表2012-511696(P2012-511696A)

【公表日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2012-020

【出願番号】特願2011-539478(P2011-539478)

【国際特許分類】

G 0 1 D	21/00	(2006.01)
G 0 8 C	17/00	(2006.01)
G 0 1 N	27/02	(2006.01)
G 0 6 K	19/07	(2006.01)
G 0 6 K	19/00	(2006.01)
G 0 6 K	17/00	(2006.01)

【F I】

G 0 1 D	21/00	G
G 0 8 C	17/00	Z
G 0 1 N	27/02	Z
G 0 6 K	19/00	H
G 0 6 K	19/00	Q
G 0 6 K	17/00	F

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ピックアップコイルと、

前記ピックアップコイル中に位置決めされ、前記ピックアップコイルから延びるフェライト位置合わせキーと、  
受入れ要素を有する無線共振センサとを備え、

前記ピックアップコイルと前記無線共振センサが、前記フェライト位置合わせキーを前記受入れ要素に挿入したとき位置合わせされる、無線共振センサアセンブリ。

【請求項2】

無線共振センサと、

前記無線共振センサ中に位置決めされ、前記無線共振センサから延びるフェライト位置合わせキーと、  
受入れ要素を有するピックアップコイルとを備え、

前記無線共振センサと前記ピックアップコイルが、前記フェライト位置合わせキーを前記受入れ要素に挿入したとき位置合わせされる、無線共振センサアセンブリ。

【請求項3】

前記無線共振センサが、RFIDセンサ、音波センサ、又はインダクタ-コンデンサ共振回路センサである、請求項1又は請求項2記載のアセンブリ。

【請求項4】

前記フェライト位置合わせキーが、前記受入れ要素に挿入することにより前記無線共振

センサ信号の感知が増大するように構成される、請求項 1 記載のアセンブリ。

【請求項 5】

前記フェライト位置合わせキーが、前記受入れ要素に遠位突出部要素を挿入することにより前記無線共振センサ信号の感知が増大するように構成される、請求項 2 記載のアセンブリ。

【請求項 6】

前記ピックアップコイルによる前記無線共振センサ信号の前記感知の増大が、測定時間にわたる応答安定性の改善、応答雑音の低減、信号の大きさの増大、信号対雑音比の増大、及びそれらの組合せを含む、請求項 4 又は請求項 5 記載のアセンブリ。

【請求項 7】

前記フェライト位置合わせキーが、前記受入れ要素の位置合わせ停止面と一致する位置合わせ停止面をさらに含み、それによって前記位置合わせ停止面間の接触により、前記ピックアップコイルによる前記無線共振センサの前記感知が増大する、請求項 1 又は請求項 2 記載のアセンブリ。

【請求項 8】

前記フェライト位置合わせキーが、前記位置合わせ停止面間で非電気化学的接触が生じるように前記受入れ要素内で再位置決めされるように構成される、請求項 7 記載のアセンブリ。

【請求項 9】

前記ピックアップコイルに結合される読み取り／書き込みデバイスをさらに含む、請求項 1 又は請求項 2 記載のアセンブリ。

【請求項 10】

前記無線共振センサアセンブリが、監視システムで使用するためのものである、請求項 1 記載のアセンブリ。

【請求項 11】

前記監視システムの 1 つ以上のパラメータを測定するための方法であって、監視システムに無線共振センサを埋め込む段階であり、前記無線共振センサが、受入れ要素を含む、段階と、

前記無線共振センサと関連して動作するピックアップコイルと、前記ピックアップコイル中に位置決めされ、前記ピックアップコイルから延びるフェライト位置合わせキーとを提供する段階と、

前記ピックアップコイルと前記無線共振センサが位置合わせされるように前記フェライト位置合わせキーを前記無線共振センサの前記受入れ要素に挿入する段階と、

前記ピックアップコイルで前記無線共振センサ信号を感知する段階と、

前記ピックアップコイルに結合される読み取り／書き込みデバイスを使用して前記信号を読み取る段階とを含む方法。

【請求項 12】

前記監視システムの 1 つ以上のパラメータを測定するための方法であって、監視システムに無線共振センサを埋め込む段階であり、前記無線共振センサが、前記無線共振センサ中に位置決めされ、前記無線共振センサから延びるフェライト位置合わせキーを含む、段階と、

前記無線共振センサと関連して動作するピックアップコイルを提供する段階であり、前記ピックアップコイルが、受入れ要素を含む、段階と、

前記無線共振センサと前記ピックアップコイルが位置合わせされるように前記フェライト位置合わせキーを前記ピックアップコイルの前記受入れ要素に挿入する段階と、

前記ピックアップコイルで前記無線共振センサ信号を感知する段階と、

前記ピックアップコイルに結合される読み取り／書き込みデバイスを使用して前記信号を読み取る段階とを含む方法。

【請求項 13】

前記 1 つ以上のパラメータが、識別、物理的、化学的、及び生物学的特性の少なくとも

1つを含む、請求項1\_1又は請求項1\_2記載の方法。

【請求項14】

前記無線共振センサが、RFIDセンサ、音波センサ、又はインダクタ-コンデンサ共振回路センサである、請求項1\_3記載の方法。

【請求項15】

前記挿入する段階が、前記無線共振センサの前記感知を増大させる、請求項1\_3記載の方法。

【請求項16】

前記無線共振センサの前記感知の増大が、測定時間にわたる応答安定性の改善、応答雑音の低減、信号の大きさの増大、信号対雑音比の増大、及びそれらの組合せを含む、請求項1\_5記載の方法。

【請求項17】

前記挿入する段階が、前記フェライト位置合わせキーの位置合わせ停止面を前記受入れ要素の対応する位置合わせ停止面と接触させる段階をさらに含み、それによって前記接触させる段階が、前記無線共振センサの前記感知を増大させる、請求項1\_3記載の方法。

【請求項18】

前記フェライト位置合わせキーが、前記位置合わせ停止面間で非電気化学的接触が生じるよう前記受入れ要素内で再位置決めされるように構成される、請求項1\_7記載の方法。